



議会だより

* 特集 *
ICT導入により
変わる那珂市議会

Contents (目次)

特集	2
議案等審議	4
一般質問（質問者9名）	7
閉会中の議会活動	13
次回定例会の開会予定	14

特 集

ICT導入により 変わる那珂市議会

那珂市議会では、令和元年より、ICT化^{注1}に取り組んできましたが、その後の新型コロナウイルス感染症拡大により、議会のオンライン活用が喫緊の課題となり、ICT導入が急務となりました。

これまで、本会議のライブ配信、議員1人1台のタブレット整備、オンライン会議の環境整備などを進めてきました。さらに現在、令和4年9月定例会を目標に、議会資料のペーパーレス化の実現を目指しています。

今後はオンラインを活用し、市民の皆さんとの交流など新しい議会のあり方に挑戦し、議会を身近に感じていただけるようより一層取り組んでまいります。

今回の特集は、その軌跡とこれから目指す姿を紹介していきます。



オンラインでのタブレット端末操作研修

ICTを活用した

未来型議会への挑戦

議会ICT化へのこれまでのあゆみ

令和元年6月

議会ICT化の推進について諮問

新型コロナウイルス感染症拡大

議会ICT導入が急務

令和2年6月

議会ICT導入検討会設置

タブレット端末や文書ソフトの検討

研修

視察



いつでも・どこでも
議会の様子を知ることが可能



那珂市議会
YouTube チャンネル

チャンネル登録
よろしくお願いします！



注1…「ICT」とは、「Information and Communication Technology（情報通信技術）」の略

議会の活性化 市民に開かれた議会の実現

- ・ 議会の情報を市民にリアルタイムで提供
- ・ 議員の情報の共有化
- ・ 会議資料のペーパーレス化により経費を削減
- ・ 災害や感染症に影響されず委員会などの協議が可能
- ・ オンライン活用で市民とのコミュニケーションの促進

9月	一部資料を除き、会議資料をペーパーレス化④
4月	Zoomで自宅からの接続訓練③
3月	議会ICT推進検討会設置
9月	第1回臨時会で初めてタブレット端末を使用②
12月	議員へ1人1台タブレット端末を貸与
令和4年1月	FAXでの連絡を完全に中止 セキュリティポリシー等策定
令和3年3月	全国的なICT導入によって品不足 本格導入までに周辺機器及び規則等の整備を加速 チャットツール「LINE WORKS」を導入



タブレット端末操作研修会



環境保全
業務効率化
経費削減
情報セキュリティの保護



R4.01.28 臨時会
タブレット端末を活用

何度か練習してやっと
Zoomに繋ぐことが
できました！

これからタブレット
端末の活用について
など、もっと勉強して
いきます😊

●令和4年 第2回定例会●

那珂市の

こんなことが決まりました

◆会期 20日間 6月2日～21日

《傍聴者 26人》

今回提出された議案等は
市長提出案件…19件
請願・陳情…0件
議会提出案件…2件
計21件

提出された議案等とその結果 (賛否が分かれた案件はありませんでした。)

議案等番号	議案等名	内容	結果
報告2	令和3年度那珂市一般会計繰越明許費繰越計算書について	17事業、合計9億4802万4000円繰越。	—
報告3	令和3年度那珂市下水道事業会計予算繰越計算書について	1事業、869万5000円繰越。	—
報告4	令和3年度那珂市一般会計継続費繰越計算書について	1事業、800円繰越。	—
報告5	令和3年度那珂市水道事業会計継続費繰越計算書について	4事業、合計3億1906万2000円繰越。	—
報告6	令和3年度那珂市下水道事業会計継続費繰越計算書について	1事業、161万5900円繰越。	—
議案28	専決処分について(那珂市税条例の一部を改正する条例)	地方税法等の改正に伴うもの。内容は、固定資産税における証明書交付等の際のDV被害者等への支援措置の明確化など。	承認
議案29	専決処分について(那珂市都市計画税条例の一部を改正する条例)	地方税法等の改正に伴うもの。内容は、貯留機能保全区域の指定を受けた土地の特例率の新設など。	承認
議案30	専決処分について(那珂市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	地方税法施行令の改正に伴うもの。内容は、国民健康保険税の基礎課税額及び後期高齢者支援金等課税額の賦課限度額の引き上げなど。	承認
議案31	那珂市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	人事院規則の改正により、国家公務員において非常勤職員に対する育児休業制度が見直されたことから、地方公務員法の趣旨に沿い、条例を改正するもの。	可決
議案32	那珂市税条例等の一部を改正する条例	地方税法等の改正に伴うもの。内容は、証明書交付等の際の記載事項の追加など。	可決
議案33	那珂市地方活力向上地域における固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例	地域再生法第17条の6の地方公共団体等を定める省令の改正に伴うもの。内容は、本条例の規定による固定資産税の特別措置の対象事業者の認定期間を2年間延長し、特定業務施設の新増設の適用期限を1年間延長するもの。	可決

議案等番号	議案等名	内 容	結果
議案34	令和4年度那珂市一般会計補正予算(第1号)	歳入歳出それぞれ4895万7000円を増額し、総額を218億9895万7000円とするもの。内容は、子育て世帯生活支援特別給付金事業において、低所得のひとり親世帯等への児童一人当たり5万円の給付に係る扶助費等の計上など。	可決
議案35	令和4年度那珂市一般会計補正予算(第2号)	歳入歳出それぞれ1億9859万6000円を増額し、総額を220億9755万3000円とするもの。内容は、新型コロナウイルスワクチン接種事業において、4回目ワクチン接種に向けた委託料の増額など。	可決
議案36	令和4年度那珂市介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第1号)	歳入歳出それぞれ44万円を増額し、総額を47億1044万円とするもの。内容は、マイナンバーの情報連携利用に係るシステム改修の委託料の計上。	可決
議案37	物品売買契約の締結について(常備消防車両購入)	東消防署配備の消防ポンプ自動車を購入するもの。契約金額4674万8716円。	可決
議案38	物品売買契約の締結について(消防団車両購入)	消防団第2分団第2部及び第3分団第3部配備の小型動力ポンプ付積載車を購入するもの。契約金額2526万2220円(2台)。	可決
議案39	市道路線の変更について	市道路線1件を変更するもの。	可決
議案40	損害賠償請求に関する和解及び損害賠償額の決定について	市の過失による事故等に対する損害賠償額の決定。(車両事故:3万5512円、物損事故:38万5429円)	可決
議案41	那珂市固定資産評価審査委員会委員の選任について	固定資産評価審査委員会委員1名の任期満了に伴い、平山正勝氏を再任するもの。	同意
発議4	那珂市議会委員会条例の一部を改正する条例	公述人や参考人などもオンラインで会議に参加できるようにするなど条例を改正するもの。	可決
発議5	那珂市議会会議規則の一部を改正する規則	請願の紹介議員がオンラインで委員会に参加できるようにするなど規則を改正するもの。	可決

総務生活常任委員会

◆議案第35号

令和4年度那珂市一般会計補正予算(第2号)

○那珂聖苑管理事業

(1191万2000円)

Q 那珂聖苑は、建設後21年が経過し、老朽化が進んでいます。雨漏りが数箇所確認され、昨年10月から今年4月まで調査をした結果、緊急修繕が必要と判断されたことによる補正予算の計上となります。

A 昨年から調査されていたことですが、調査時点で予算当初に計上されるべきと考えます。

計画的な修繕は、当初予算にて計上をしておりますが、昨年からの雨漏りについては、散水調査等を行い、漏水箇所の確定が4月になってしまったことから、早急に補正予算を計上し、緊急で修繕を進めるものであります。

Q 雨漏りの修繕というところで、以前からお願している椅子も同じく老朽化しています。改修の予定はあるのでしょうか。

A 椅子の交換については、今後の予算について検討を行っている段階となります。



那珂聖苑

産業建設常任委員会

◆議案第35号

令和4年度那珂市一般会計補正予算(第2号)

○農業者緊急応援事業

(1811万3000円)

水田経営農家は、主食用米の買い取り価格の下落に加え、農業生産資材が上昇

するなど、想定外の影響を受けていることから、次期作に向けた生産意欲喚起のため、水田農業経営緊急支援金を交付します。

Q 対象者の要件に、水田作付実績面積が50アール以上の方が該当するとのことですが、この50アールはどこから設定したのですか。

A 農地法において、3条等の権利移動の下限面積となる50アールを準用しました。

Q 作付面積が50アール以下の小規模農家に対しても支援金を交付することが、農業者の生産意欲を維持し農業経営の安定に寄与すると思います。残念ながら小規模農家は該当しません。50アールの線引きには疑問があります。

A 生産意欲と希望を失わずに営農を続けていただくには、小規模農家の方へも支援金を交付すべきとの提言だと思えます。今回は、大規模農家と小規模農家のバランスを見ながら50アール

ルを要件としました。要件の決定はなかなか難しい点となりますが、今後もいろいろな農家の方の意見を参考にしながら進めていきます。



教育厚生常任委員会

◆議案第35号

令和4年度那珂市一般会計補正予算(第2号)

○新型コロナウイルス

ワクチン接種事業

(6802万1000円)

感染症対策のため、4回目の新型コロナウイルスワクチン接種を実施するための補正予算の計上です。4回目の追加接種は重症化予

防を目的として実施します。接種時期は、3回目接種から5ヶ月以上が経過した時期になります。

○対象者

① 3回目接種から5ヶ月以上経過した60歳以上の方。

② 3回目接種から5ヶ月以上経過した18歳以上60歳未満で基礎疾患を有する方とその他重症化リスクが高いと医師が認めた方。

○接種券発送

① 60歳以上の方には、接種時期を目安に順次発送。

② 18歳以上60歳未満で基礎疾患を有する方等のうち接種を希望される方は申請により接種券発行。

Q 医療従事者の4回目のワクチン接種はどのようになっていますか。

A 医療従事者やエッセンシャルワーカーも60歳以上または基礎疾患のある方が接種の対象者となります。

Q 基礎疾患を有する方の申し込み状況をお聞きします。

A 60歳未満で基礎疾患の

ある方からは電話等で問い合わせを受けています。3回目の接種時期を確認しながら、接種券の発送を行っています。

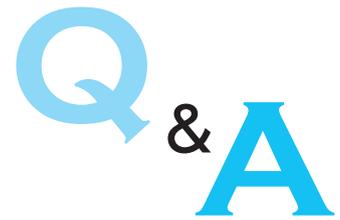
原子力安全対策常任委員会

6月14日開催の委員会において、原発の再稼働の賛成と反対それぞれの立場の方を講師に迎えた議員勉強会を、市民の皆さんにもご案内をして傍聴可能で行うことに決定しました。そこで得られた知見を基にして市民との意見交換会を開催します。

意見交換会は、11月頃を目安に那珂市民限定で行います。また、避難訓練に参加した地域の方の意見も聞きたいと考えています。

東海第二原発の再稼働の可否については2023年9月を目標に意見の集約を行う方針です。

一般質問



《質問者 9名》

※一般質問の記事は、質問した議員が各自で作成しており、内容や表現は各議員の文責において掲載しています。

P 08 寺門 厚 議員
◇新型コロナウイルス感染症に関する後遺症について
◇部活動改革について
◇改正所有者不明土地の利用の円滑化に関する特別措置法について

P 08 花島 進 議員
◇インボイス制度について
◇いじめ対策について
◇サイクリング振興について
◇東海第2原発への対応について
◇那珂市の水道水源について
◇事務ミスにより誤送金が発生した場合の対応について

P 09 古川 洋一 議員
◇市民アンケートについて

P 09 小泉 周司 議員
◇防犯灯の整備について
◇生活道路の整備について
◇特産品ブランドについて

P 10 木野 広宣 議員
◇指定ゴミ袋について
◇災害対応について
◇母子手帳のアプリ導入について
◇健康寿命の延伸について

P 10 原田 陽子 議員
◇消費生活センターについて
◇高齢者のデジタルディバイド解消について
◇屋外でのマスク着用について

P 11 富山 豪 議員
◇買い物弱者への対策
◇国旗掲揚の推奨について

P 11 小池 正夫 議員
◇こども家庭総合支援拠点について
◇那珂市の農業の担い手確保について
◇障害者の地域移行の推進について

P 12 石川 義光 議員
◇老障介護について

部活動改革について

部活動の地域移行への取り組みは 働き方改革特別委員会と連携推進



寺門 厚 議員

Q 働き方改革を踏まえた部活動改革実施事項及び課題・対策について伺います。

A 教育部長 部活動の地域移行については、休日の部活動を担える団体や指導者の確保が最大の課題です。既に、学校長会の中に働き方改革特別委員会を設置しており、今後連携し検討を進めます。まず、受け入れ団体や指導者の確保に向け、那珂市スポーツ協会加盟のスポーツ少年団や各スポーツ連盟、ひまわりスポーツクラブ等から意見聴取し、現状確認から始めます。

地域で生徒の部活動を健全に運営するためには、関係各位との真剣な議論と入念な準備が必要です。部活動の主役は、生徒です。今後の部活動の在り方、地域移行は生徒にとってどのような影響があるのか、教員の負担軽減のためだけなのか、について生徒・教職員・学校・地域・地域スポーツ団体やクラブ・行政・関係団体としっかりと議論し検討を重ね、よりよい地域移行の実現を切望します。本市の部活動の地域移行について、教育長の見解を伺います。

A 教育部長 大きな方針の転換期であり、生徒、保護者、地域の皆様の理解が不可欠です。県の今後の動向を注視し、学校長会と連携を密にして、課題解決に積極的に取り組んでいきます。

インボイス制度について

インボイス制度、市の対応は？ 関係機関と連携し周知を図る



花島 進 議員

Q 来年10月から導入されるインボイス制度とはどういうものですか。

A 産業部長 取引の透明性を高め消費税額を正確に把握するために導入される制度です。

別名「適格請求書等保存方式」とも呼ばれ、取引内容、消費税額等の一定の事項が記載された請求書や納品書が作成されて、事業者が消費税を申告する際の仕入税額控除に使用されます。

控除の条件はインボイス制度が導入された後は、登録を受けた事業者が適格請求書発行事業者となり、その事業者が発行した適格請求書等が保存される物のみが仕入税額控除の対象になります。

Q 適格請求書発行事業者になれば適格請求書を発行

するための事務の負担が大きくなり、ならなければ多重課税を避けようとされて取引先の減少が考えられます。中小事業者、個人事業者などに、市としてどのように指導・案内していくつもりですか。

A 産業部長 6月に太田税務署主催の消費税のインボイス制度説明会が開催されるので、広報なかへの掲載で周知を図っています。また、市の商工会では、6月から3回にわたり公認会計士によるインボイス制度事前準備・対策講座を開催します。今後も関係機関と連携して制度等の周知を図ってまいります。

市民アンケートについて

市民の意見を事業に反映すべき ニーズを把握して活用していく



古川 洋一 議員

Q 毎年実施している市民アンケートの結果が行政にしっかりと反映されているのか疑問に感じていますが、そもそもアンケートの目的は何なのか伺います。

A 総務部長 総合計画などで掲げた各種施策や事務事業の成果の確認及び市民のニーズや意識の変化を把握し、更なる魅力あるまちづくりの推進に活用することを目的としています。

Q 満足度や関心度といった意識調査のような設問が多く、大事な目的である市民のニーズを把握するという点の意識が欠けているように感じます。「不満である」と回答した方がなぜ不満なのか理由も把握すべきであり、また、その回答された方々を地区別、年代別、男女別にクロス集計しなければ、必要なところに

必要な施策を講じることができません。例えば生活基盤の道路整備、ゴミや下水の処理、交通の利便性などに「不十分」と回答している方が多いですが、クロス集計を活用して現状を把握しているのか伺います。

A 企画部長 現在総合計画の基本計画を策定中ですので、計画立案に際してはクロス集計をし、現状を把握したいと思えます。

Q 医療サービスに関する質問に対して、休日や夜間診療の拡充を求める要望があったようですが、どう対応されますか。

A 保健福祉部長 医療機関におけるコロナ対応や人材確保の負担などを考えるのと制度の拡充は難しいですが、近隣市の休日夜間緊急診療所を受診できますので、一層の周知に努めます。

防犯灯の整備について

防犯灯LED化の更なる推進を 令和8年度までに全灯LEDへ



小泉 周司 議員

Q 防犯灯については、電気が安い、寿命が長いなどの理由から、市では平成23年より蛍光灯からLEDへの交換に補助を出して推進しています。現在の市内における防犯灯の数とLED化率はどの程度ですか。

A 市民生活部長 市内の防犯灯の数は3528灯あり、そのうち2755灯がLEDに更新されています。LED化率としては78・09%です。

Q 防犯灯の設置数やLED化率は自治会により差があると思いますが、現状はどのようになっていますか。

A 市民生活部長 防犯灯の設置数やLED化率については、自治会の状況により差があります。設置数が一番多いのは一の関自治会で146灯です。また、35自治会でLED化が完了し

ている一方、9自治会は50%に満たない状況です。

Q 市から防犯灯の電気代への補助は一律となっており、LEDと蛍光灯では電気に大きな差があることから、LED化が進んでいない自治会の負担が大きくなっていきます。そこで、LED化の更新スピードを速めていただくと共に、公共性の高い防犯灯の電気代は、市の負担としてはいかがでしょうか。

A 市民生活部長 自治会と共にLED化を進め、防犯灯の維持管理が自治会の負担にならないよう、防犯灯の設置費補助の予算枠を拡大してLED化を進めています。令和8年度までにすべての防犯灯のLED化を完了させたいと考えています。

指定ゴミ袋について

30Lのゴミ袋を導入しては

選択肢は増えるが考えていない



木野 広宣 議員

Q 本市での可燃ゴミの45L・20Lの年間販売数と割合について伺います。

A 市民生活部長 販売数は、令和3年度の実績で45Lが約253万枚、20Lが約8万枚になります。割合は45Lが約97%、20Lが約3%になります。

Q 近隣市町村の容量の種類について伺います。

A 市民生活部長 水戸市が10L・20L・45Lの3種類、東海村が20L・30L・45Lの3種類、常陸太田市、ひたちなか市が本市と同じ2種類になります。

Q 東海村が30Lを利用していますが、他につくば市も利用しています。最近は、ゴミの減量、分別を細かくしている自治体もあります。30Lのゴミ袋の導入について本市の考えを伺います。

A 市民生活部長 本市では、標準的な家庭用として45L、単身世帯用として20Lを使用しています。30Lのゴミ袋を導入することで市民の選択肢は増えると思いますが、製作コストにより、市民負担も増えることになりそうですので、新たに種類を増やすことは考えていないのが現状です。

Q 一部の自治体が海外で製造している指定ゴミ袋が入荷不安定となり、品薄や欠品の可能性があります。本市の指定ゴミ袋は大丈夫なのか伺います。

A 市民生活部長 本市の指定ゴミ袋は、ベトナムで製造しています。委託業者には契約通り納品ができるという事を確認していますが、引き続き注視してまいります。

屋外でのマスク着用について

本市の見解と対応について

国の方針に沿った適切な対応を



原田 陽子 議員

Q 新型コロナウイルスの感染が落ち着きをみせ、厚生労働省は屋外など一定の状況ではマスクを不要とする国の考え方を示しました。そこで本市では、就学前の子どものマスク着用の取り扱いはどうようになりますか。

A 保健福祉部長 マスク着用が長期化する中で表情が見えにくいことによる影響や、特に夏場は熱中症のリスクが高くなることも懸念されます。市内の保育施設では、国の方針に沿った運用を行い、状況に応じて対応していきます。

Q 幼稚園や小中学校での対応はどうでしょうか。

A 教育部長 5月に国の基本的対処方針が変更され、体育の授業や運動部活動、登下校においては、屋内・屋外を問わず、マスク

の着用は不要と明示されました。各学校でも指導方針を変更して対応しています。

Q マスク着用に対する人の意識には「同調」や「不安緩和」が強く結びついていと聞きます。そのため、マスク着用の新しい基準が進まないようですが、適切なマスクの着用について市長の考えを伺います。

A 市長 基本的な感染対策としてのマスク着用は必要だと考えます。一方、これからの季節は熱中症のリスクも高まってきますので、国の方針に沿ったマスク着用の緩和も必要になってきます。市民の皆様にも、マスク着用を正しく理解していただくためにも、適切なマスクの着用についてお知らせしていきます。

買い物弱者への対策

移動販売車の導入検討を

まずはニーズ調査を行いたい



富山 豪 議員

Q 現在、本市では高齢化率が高い地域ほど商店が少なく、利便性が悪い現状があります。それに伴い、生活用品の買い物に困難をきたしている買い物弱者と呼ばれる方々は大勢いると思われまます。そこで、買い物弱者の支援対策として、移動販売車の導入を考えてみてはいかがでしょうか。すでに県内では、つくば市、日立市、取手市など12市2町で自治体と某大手スーパーとが包括連携協定を結び、移動スーパーを運行しております。お店が近くまで来てくれて、商品を自分の目で確認し、触れて買うことができる、これが移動販売車の最大のメリットであります。昨今のコロナ禍では、人混みを避けて買い物ができるという利点も考えられます。導入検討を

お願いしたいが、本市の考えを伺います。

A 保健福祉部長 移動販売車を利用し日用品や食料品などを購入することは、生活必需品の調達という面にとどまらず生活の張り合い、コミュニティの維持、見守りなど、さまざまな効果が期待でき、高齢者の生活を支援する有効な方法であると認識しています。導入するかについては、まずは高齢者に対してニーズ調査を行いたいと考えています。移動販売車を希望しているのか、希望している場合は、何曜日になどどんな時間帯で、どこに来てほしいのかなどを分析したうえで支援が必要な方へ、より適切なサービスが提供されるよう、取り組んでいきたいと考えています。

那珂市の農業の担い手確保について

本市の農業を取り巻く現状は

高齢化や後継者不足が課題



小池 正夫 議員

Q 担い手の高齢化や後継者不足等の問題は、今後の本市の農業にどのような影響を及ぼしますか。

A 産業部長 本市の耕地面積に対して、担い手の数がそもそも少ないとの声もある中、今後高齢化等で離農する方の農地を、現在の担い手でカバーするのは難しい状況となっております。今後さらに担い手が不足していくことになりまますと、耕地面積の減少や、遊休農地の増加に加え、経営規模拡大を目指す経営体の減少にもつながり、ひいては地域農業が衰退するなどの影響を及ぼすこととなりますので、少しでも担い手を増やしていく必要があると考えています。

が、市としてどのようなことを考えていますか。

A 産業部長 本市の地方創生の指針としております「第2期那珂市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定にあたり、意欲的な農家の皆様と、ワークシヨップを重ね、市の現状を把握しながら意見を取りまとめ、「農業で稼ぐ」いい那珂プロジェクト」を掲げています。このプロジェクトを具現化するため、さらにワークシヨップを重ね、令和2年度末に「那珂市アグリビジネス戦略」を策定し、その中で、農業後継者、新規就農者の支援を基本目標に掲げて担い手確保の施策を体系化し、担い手と一体となった取り組みを始めたところですが、

Q 本市の農業を衰退させないためにも、担い手の確保が不可欠と考えられます

老障介護問題解決に向けて ふくし相談センターを設置



石川 義光 議員

Q 老障介護とは、高齢の親が、障がいのある子どもの介護をし続けることです。まさに親なきあとの課題です。しかし、親なきあとの問題解決より、親あるあいの準備をしっかりとしておく必要があると思います。老障介護問題解決に向けた、取り組み内容を確認します。

A 保健福祉部長 保健福祉センターひだまり内にふくし相談センターを設置し子ども・障がい・高齢・生活困窮といった様々な分野の相談を一括して受け止め関係機関と連絡調整をして支援をします。ふくし相談センターは、これまでの問題解決に加え、新たな取り組みについても中心となって役割を担い、結果として重層的支援体制の構築に取り組みます。

Q 障がい者を抱える親たち、介護困難に落ちている主な要因として学校教育が終了した場合や親が障がい者を一人で介護している場合において障がい者本人のみならず、その家族においても社会から孤立する場合があります。障がい者家族が孤立せず、介護困難とならないため今後どのような取り組みをしますか。

A 保健福祉部長 障がい者や家族の気づきによる相談が重要です。現在行っている障がいに関する事業や相談機関を周知するとともに事業者相互の連携を強化します。また、重層的支援体制の整備により障がい者やその家族を地域全体で支えていくという地域づくり、こちらを推進することで孤立が起きないよう取り組んでいきます。

「議員と語ろう会」開催のお知らせ

今年、市議会議員4～5人と参加者がフリーテーマで対話する方式での意見交換会です。会場は、以下の4か所になります。

事前申し込みは不要です。どなたでも参加いただけます。

たくさんの方のご来場をお待ちしております。

日 程	時 間	場 所
10月1日(土)	午前10時～正午	・中央公民館 ・総合センターらぼーる
	午後2時～4時	・ふれあいセンターよこぼり ・ふれあいセンターよしの

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大等により中止・変更となる場合があります。

問い合わせ：議会事務局（内線224・225）

閉会中 議会活動レポート

定例会閉会中（3月～5月）の那珂市議会の主な活動をご紹介します

活動日誌

3月

18日 議会広報編集委員会
29日 議会広報編集委員会

4月

6日 議会広報編集委員会
12日 議会ICT推進検討会
(オンライン)
21日 議会広報編集委員会
全員協議会
教育厚生常任委員会
22日 Zoom操作研修会
(オンライン)

5月

12日 議会運営委員会
18日 原子力安全対策常任委員会
20日 議会ICT推進検討会
26日 議会運営委員会
全員協議会
議会広報編集委員会

原子力関連4事業所の年間事業等について報告を受けました

5月18日の原子力安全対策常任委員会で原子力4事業所の年間事業計画について報告がありました。

量子科学技術研究開発機構那珂研究所はJT60SA計画とITER用開発試験を行っているとのことです。

三菱マテリアル株式会社は廃棄物無害化処理を行う

ため、管理区域解除終了時期を2024年度から2026年度に変更するとのことです。

三菱原子燃料株式会社は、今年度の燃料集合体の生産計画は未確定とのことですが、社内での防災訓練は継続的に行っているとのことです。

日本原子力発電株式会社

は東海発電所において廃止措置工事を継続しているとのことです。

東海第二発電所は2024年9月に安全対策工事を終了予定で、その後自治体と相談して安全協定等に基づく手続きを行うとのこと。合意を得られても運転できる期間は2038年までです。



まちかど

ニュース

第63回選抜ソフトボール大会 菅谷地区予選会決勝

令和4年6月19日(日)
なかLuckyFM公園にて

次回 9 月定例会

日	月	火	水	木	金	土
8/28	29	30 本会議 (議案上程など)	31	9/1 本会議 (一般質問)	2 本会議 (一般質問)	3
4	5	6 総務生活 常任委員会	7 産業建設 常任委員会	8 教育厚生 常任委員会	9 原子力安全対策 常任委員会	10
11	12	13	14	15 議会運営委員会 全員協議会	16 本会議 (委員長報告、 議案等採決)	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	10/1

※会議は、原則として午前10時開会です。

令和4年第3回定例会：8月30日～9月16日

令和4年第3回(9月)定例会の日程(案)は左のとおりです。

会議は原則公開となっており、所定の用紙にご記入いただくだけで、どなたでも傍聴できます。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から座席数を減らしているとともに、受付で検温を実施していますので、ご理解、ご協力をお願いします。

また、請願・陳情を議会へ提出される場合は、8月19日(金)17時までに、議会事務局までご提出ください。

議会映像を公開しています

那珂市議会では定例会、臨時会の本会議の映像を「YouTube」の動画サイトで公開しています。詳しくは、那珂市ホームページの「那珂市議会」のページをご覧ください。

(「那珂市議会」のページ内の「映像配信」から「YouTube」を開くことができます。)



編集後記

自然界の光景が、暮らしの中で季節の移ろいを教えてくれます。季節を味わい、季節から学び、季節の移り変わりに寄り添い、季節を感じる心のゆとりが大切です。今、季節が移ろっている中、私たちを取り巻く環境も刻々変化をしていますが、今の状況が続くことはありません。私たち那珂市議会は、市民の皆様が安心して過ごせる日々を取り戻すため議員一丸となって対応してまいります。(石川 義光)

議会広報編集委員会

委員長 原田 陽子
副委員長 石川 義光
委員 小池 正夫
委員 大和田和男
委員 木野 広宣
委員 武藤 博光